

平成28年12月19日

### 第32回「県民文化奨励賞」の贈呈について

一般財団法人ケンシン地域振興財団では、地域の文化活動に対する表彰事業を目的として、地域の文化活動の発展に功績のあった方々に「県民文化奨励賞」の贈呈を行いました。

#### 1. 第32回「県民文化奨励賞」贈呈式

日 時 平成28年12月12日（月）

場 所 オリエンタルホテル広島

#### 2. 受賞者

県民文化奨励賞

特定非営利活動法人 セトラひろしま（地域文化活動）広島市在住

有本 空玄氏（陶芸家）広島市在住

#### 3. 受賞者の紹介

県民文化奨励賞

特定非営利活動法人 セトラひろしま（地域文化活動）

理事長 若狭 利康氏

特定非営利活動法人セトラひろしまは、市民と商店街が連携した街づくりを目指し平成15年に設立。セトラとは、広島市中央部地域（センターエリア＝セトラ）のことを意味しており、市民の知恵の力、人材を積極的に取り入れながら、また、広島市中心部の12商店街及び10大型店による連合組織「広島市中央部商店街振興組合連合会」と協働し、広島を中心部にて「まちづくり」活動を展開。必要とされる「まちづくり」のため、活動は多岐に渡っている。内容は以下の通りである。①市民参加のお祭や広場イベントの提案・実施をする「まちづくりイベント事業」②市民・住民参加型のまちなかの緑化活動「グリーンプロジェクト」③市民による公園等公共空間の美化・清掃活動「地域環境プロジェクト」④市民による多様性をもった新しい文化スタイルの創造「文化交流事業」⑤こどもの生育環境の充実「こどもイキイキ環境プロジェクト」⑥「その他のまちづくり事業」。こうした「まちづくり」活動を通して、広島全体の活性化につながる魅力的なセンターエリアの創造を目指している。また、若手アーティストが相互に協力し、様々な活動を行うことにより、次の時代における文化・芸術の担い手の育成、そして、彼ら若手アーティストたちのコミュニティ拡大を図るモデルケースとして文化振興活動をされています。

有本 空玄氏（陶芸家）

有本氏は、29才の頃、岐阜県可児市にある荒川豊蔵資料館を訪れた際、ある一つの志野茶碗と出会い、このような茶碗を自分も作らなければならないと電撃的衝撃を受ける。平成4年に志野を志し、研究に邁進。書籍・映像等の情報を収集し、独学で志野に取り組む中、昭和の巨匠等に陶芸原料を供給していた原料屋の老人に気に入られたことがきっかけとなり、よい土や長石等の情報や生成の方法について教える。平成7年、広島市の二ヶ城山麓に志野仕様の窯を築く。平成12年、天満屋広島八丁堀店にて初個展を開き、二ヶ城窯として独立。福井県の氣比神宮より「空玄」の名を頂いた平成15年以降、「広島志野」を作るべく、志野にこだわり精進を重ねている。自分の作品を見た人たちの心の琴線に触れる作品を作りたいと精神性を重要視した制作姿勢を貫き、作家のコンセプトを表現できる個展形式こそ自らの信条とし全国で作品発表を行っていると同時に公募展においても入選を重ねている。

平成25年からは、広島女学院大学国際教養学部で非常勤講師として陶芸実技を教授。また、広島で活動している四、五十代の中堅伝統工芸作家のグループ“燈会（ともるかい）”設立にも尽力し、若い世代に日本文化や伝統工芸に興味を持って欲しいという趣旨に現在7名の工芸作家が賛同し集り、展覧会を通じてメッセージを発信するなどの活動をされています。